

基本ライティングマニュアル

0.はじめに

1.記事を書く時に大切なこと3つ

(1)機能的価値と感情的価値

(2)ライバルチェック

(3)FABを意識する

2.記事の構成

3.画像と動画

4.最終チェック

5.おわりに

○著作権および守秘義務契約 このマニュアルは著作権法で保護されている著作物です。著作権者の許可なく、このマニュアルの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。※本マニュアルの内容を外部に漏らすことなく、弊社業務においてのみ使用いただければ問題ありませんので、ご安心ください。

o.はじめに

このマニュアルを暗記できるまで読み込めば、必ず質の良い記事が作れますので、どうぞ頭の中にインストールして見てください。印刷して手元に置くこと推奨です。

それではまず、質問です。

記事を作る目的って何でしょうか？

それは、
「読者に価値のある情報」
を届けることです。

では、そのためにはどうすればいいのでしょうか？

それは「共感してもらう」ことなのです。

記事を読んでて
「あ、めっちゃわかるう～」と思ったことないですか？

本を読んでて、
テレビを見てて、
ツイッターや
フェイスブックや
インスタグラムで他人の投稿を見て
「あ、めっちゃわかるう～」
に人は、価値を感じるのです。

そういう記事を作ることができると、
ライティング技術がめっちゃくちゃ身につきます。

そしてその記事を1人でも多くの人に届ける。
それが記事の役目です。

今回はネットで公開するための記事の
ライティングマニュアルなので、
検索された時に何ページ目に出てくるか？
というのもすごく大事になってきます。

せっかく書いた記事が、
200ページ目にあったらどうでしょうか？
誰にも読まれませんかよ。

誰かに読まれるためには、
**「キーワードで検索された時に、
検索1ページ目に記事が表示されること」**
がとても大切になってきます。

しかしこれはかなり難しいことなのです。
この技術だけで飯を食べていけるくらい
すごい技術ですから。

しかし、方法はあるんです。
すぐには無理でも時間が経てば表示されるようになる
方法があるんです。
では、しっかりとその方法を頭に叩き込みましょう。

1.記事を書く時に大切なこと3つ

(1)機能的価値と感情的価値

自分が調べたいキーワードで検索すると、
アホほど出てきますよね。

同じような記事が何十個も！
何百個も！何100ページも！

そして、内容も似たりよったりですよ。

その中で自分の記事を読んでもらいたいわけですよ。

そういう記事が書けるということは、
ライティングスキルがかなりあるという証です。

じゃあどうやって既にある
同じような記事と差別化して
自分の記事を読んでもらうのか？

を考えなければなりません。

説明する順番を変えたり、
語尾を「ぜよ」に変えても、
内容は変わらないし、土佐藩士っぽくなるだけです。

方法はたったの1つだけです。

ものすごい簡単です。

他の記事と差別化するのは、
「**自分の感想**」であり、
「**自分の成功や失敗の経験談**」を入れることです。

これを**感情的価値**と言います。

そうすれば他の人は真似できません。
感想や経験はあなただけしか持ってないものだから
真似しようがありません。

そうして書いてる内容は一緒でも
世界に一つだけのオリジナル記事が出来上がるのです。

これが真似されない、
自分しか書けない記事の作り方です。

そしてそれを、ただ事実として言うのではなく、
ストーリーとしていうととても文章が面白くなり、
共感されやすくなります。

より具体的にガンガン主張を入れていきます。
その風景が思い浮かぶか、
イメージできるかどうかが大事です。

悪い例

「私はダイエットをして半年間で15キロ痩せました。夜は白飯を抜いたりしてとてもしんどかったでしたが、-15キロを達成した時は嬉しかったです。おすすめは鳥のささみです。今は痩せて毎日楽しいです。彼氏もできました」

良い例

大好きだった白飯を晩御飯に抜くことで、私は痩せてモテるよ

うになりました。体重64キロから夢の49キロへ。この私が憧れの40キロ台の体重になるなんて自分でも信じられませんでした。そうしたら、今まで着ることができなかった服も着られるようになり、なかなか入りづらかったファッションビルにも初めて入ることができました。すると、可愛い服がめちゃくちゃあってたくさんのオシャレができるようになりました。デブだった頃は自分に自信がなくて、鏡を見るのも嫌でした。自分に自信なんて全然ありませんでした。でも夜の白ご飯をささみに変えることによってみるみる体重は減っていきました。体重が減り出すと変化していく自分が楽しくなり、デザートとかも低カロリーの物を食べるようにしたり、健康管理に気を使うようになりました。そして念願の40キロ台になると、自分って意外と可愛いかもと思えるようになったり、可愛い服を着て出かけたたり、笑顔が増えました。今では鏡を見て自分のへっこんだお腹を見てはヘラヘラ笑ってしまいます。痩せて自信がただけで人見知りだった私が積極的に男性とおしゃべりできるようになりました。気になっていた人にも痩せた？と声をかけてもらえていつの間にか彼氏になっていました。もう死んでもいいくらい幸せです。」

このように、淡々と話すのではなく、その時思った感情を入れまくって、ストーリーにしていきます。

すると、人はストーリーだと話が面白くて読みたくなるのです。

このストーリーの力を使って、自分の意見や感想などを入れてると、普通に書けば面白くない事実でもどんどん魅力的な文章に変わっていくのです。

感情的価値とは逆に、誰が書いても同じ内容の物もあります。それを**機能的価値**と言います。

例えば、吉野家を題材にした場合
吉野家のメニュー、場所、看板の色などの情報は、
誰がどう書こうとも同じになります。
誰が書いても一緒の不変の情報です。

良い記事は「感情的価値」で構成されています。
悪い記事は「機能的価値」ばかりです。

機能的価値の代表例は
辞書とかウィキペディアとか公的機関のサイトです。

文章が硬いですよね。

そういうのを求めている人には問題ありませんが、
ほとんどの人が求めているものは感情的価値なのです。

ですから、記事をおもしろくするなら感情的価値を
入れまくらなければならないのです。

そうすると自然とみんなに読まれる記事へ
となっていきます。

(2)ライバルチェック

キーワードで検索して上位3サイト、できれば1ページ目は全部を見ていただいて、自分が書こうとしている記事のライバルの記事の質をチェックします。

そして、そのサイト達よりもまとめて役に立つ記事を作るつもりで書いてみてください。

コツとしては、
検索3位以内の記事と、
自分の記事があったとして、

どの記事が一番読みやすいか？おもしろいか？

上位記事と比べた時に、自分が読んで一番役立つと思う記事が自分の記事であることを目指してみてください。

それはつまり、
他の人からしても役に立つ記事ということになり、
多くの人に読まれる記事と最終的になります。

初めは難しいかもしれませんが感情的価値を入れまくと、
上位記事に食い込んでいく可能性は十分にあります。

案外、読んで「辞書か」と突っ込みたくなる機能的価値ばかりの記事は上位記事でも結構あります。

そこであなたの感情的価値をふんだんに取り入れた記事があると、ボロ勝ちできちゃうことになるのです。

良い記事を作るといろんな人に読まれるのです。

これが良い記事の条件です。

(3)FABを意識する

FABとか聞いたこともない言葉だと思いますが、これは良い記事を作る上で欠かせない、すごく大事な考え方です。

F : Feature (特徴)

A : Advantage (利点)

B : Benefit (利益)

具体的にいうと、

F (特徴) とは、「コーヒーカップの取っ手である」

A (利点) とは、「取っ手があるからやけどをしない」

B (利益) とは、「安全に熱いものを飲める」

記事を読んでいるほとんどの人が知りたいことは、Bなんです。

コーヒーカップをおすすめしたい時に

「このコーヒーカップには取っ手があるんです。すごくないですか？普通はついていない、取っ手がついているんです。火傷知らずです。絶対おすすめです。」

って言われても、誰も買う気にならないでしょう笑

Fばかり説明しているからです。

下手くそなサイトは、このF、つまり機能ばかり説明して、
A,Bをちょっとしか説明していません。

吉野家でいうと、
この値段この立地最高でしょう！
とかって宣伝は下手くそなわけです。

吉野家を食べた後にどういうことが待ってるかを
感情的に教えてあげるのです。

Fは機能的価値なんで、誰が書いても同じ内容なのに、
ここばかり説明する記事は誰にも読んでもらえません。
A,Bをメインに紹介して感情的価値を入れまくるのです。

何度も言ってるように、
感情的価値BそしてAの記事に入れまくるのです。
Fの機能的価値はあくまで補足的にいれるものです。

一番人に響くと言われている
順番はBAFの順番に説明することです。

結構下手くそな記事は、
FABの順番に説明しています。

これを
BAFの順番で説明していくようにしてみましょう！
ぐっと魅力的になります。

B→A→F

今度は車を例にして見ましょう。

F→車内は 000m^3

A→広くて乗りやすい

B→足を伸ばせて広々と長時間乗っても疲れない

悪い例

(F)この車は車内は 000m^3 です。すごい。他の車より一番の数字です。最高です。

(A)なんたって広い。更にシート間のスペースがゆったりあって乗りやすいってのはやっぱり外せませんよね。

(B)よく旅する人って、車内が狭いと疲れませんか？それに子供が多いと広い方がいいですよ。足を伸ばせて広々と長時間乗れる。遠方の親戚家や実家帰りが苦痛じゃなくなったり、2時間ちょっとのプ

手旅が好きな人には広い車がおすすりめです。

足を伸ばせたらどんなに長時間の車の旅行が楽かって、渋滞に巻き込まれたら思いますよね。家のソファーみたいにくつろげる広さがあつたら最高。この車ならそんな心配いりません。

良い例

(B)よく旅する人って、車内が狭いと疲れませんか？それに子供が多いと広い方がいいですよね。足を伸ばせて広々と長時間乗れる。遠方の親戚家や実家帰りが苦痛じゃなくなつたり、2時間ちよつとのプチ旅が好きな人には広い車がおすすりめです。

足を伸ばせたらどんなに長時間の車の旅行が楽かって、渋滞に巻き込まれたら思いますよね。家のソファーみたいにくつろげる広さがあつたら最高。この車ならそんな心配いりません。

(A)なんたつて広い。更にシート間のスペースがゆつたりあつて乗りやすいつてのはやつぱり外せませんよね。

(F)この車の車内は 000m^3 あつて、そんな不満を全部解決してくれま

Bはイメージです。いかにイメージできるか。

その為に関想や意見を入れてイメージできる。

良い未来をイメージできるようにしてあげましよう。

これが良い記事の条件です。

2.記事の構成

こちらは別紙参照となっています。具体的な記事の作り方を説明しています。印刷推奨。

[記事の構成ファイルダウンロード](#)

3.画像と動画

著作権フリーの無料画像を使用してください。

どっかのサイトの画像を勝手に使用しないでください。

画像検索で出てきたものは使用しないでください。

以下、おしゃれな無料画像のフリーサイトを載せておきます。

画像はタイトル下に入れてください。

[pixabay](#)

[Unsplash](#)

[GRATISOGRAPHY](#)

[タダピク](#)

[ぱくたそ](#)

[pexels](#)

ここに良いのがなければ「**おしゃれ画像 無料**」などで検索すれば腐るほど出てきます。

動画はyoutubeで探して、基本的にはURLをそのまま載せてもらえれば大丈夫です。

キーワードにあった動画がなければいりません。

4.最終チェック

最初は「全てを完璧に」というのはさすがに難しいので、少しずつできるようにしていきましょう。

これらのポイントを意識して書くという「姿勢」がなにより大切です。

タイトル

- 記事キーワードは左端から順番に入っているか（左に行けば行くほど重要なキーワードがあるほうが良いですがあくまで自然な日本語になっていないとダメです。）
- タイトルの文字数は28文字以内か
- !や?、数字は半角英数にしているか
- 読者が読みたくなるポイントを盛り込んでいるか？
(今のままの残念な未来、理想の未来、簡易性、)

導入文

- 一番初めに記事内容を表す画像を挿入しているか
- 記事の内容を簡単に紹介しているか
- どんな人が読むべきか、どんな悩みの人のための記事か
- フックの文章自体、長すぎにしていないか

本文と見出し

- 読者の悩みに「共感」できているか？ ※自分の体験談=ストーリーや、感情を盛り込んでいるか
- 「恐怖」を煽って、続きを読みたくなるようになっているか？
- 記事を読んでいなかったらどうなるか？ 自分自身、知る前はどっだったか？

- 会話調になっているか (口に出して読んでみて不自然になっていないか)
- 読者の人物像は具体的に設定できているか(リサーチした上で)
※性別は?年代は?職業は?キーワードに隠された悩みは何か?
- 読者にとって分かりやすく、見やすくなっているか
- ※ポイントは箇条書きにする、まとめを作る、番号をふる等

最後

- 本文中のポイントをもとめてあるか
- まとめを読むだけで書いていることの概要がわかるか
- 1画像以上、1動画以上を入れているか (動画はぴったりなものがないければなしでOK)

特に、重要なことは、

「共感」と「不安解消」です。

共感してもらえるか？

「わかるー」と思ってもらえるポイントはあるか？

例えば、昔はデブで誰にも見向きもされませんでしたとか。

タイトルに不安を掲げ、記事を読み終わった後に「役に立ったー」と思ってもらえるか？

例えば、タイトルに「子供をなぜ怒ってはいけない？」とし、記事内に答えとして「怒らずになぜそういうことをしたのか話をきいてあげることが大切。なぜならー」みたいな感じですよ。

5.おわりに

お疲れでした。
一度読んだだけじゃ絶対覚えられないので
必ず何度も覚えるまで読んでください。

できれば印刷推奨です。

このマニュアル通りかければ、
間違いなく良い記事になります。

この知識を
「知ってるか」
「知っていないか」

これだけが
良い記事を作れる人と
良い記事を作れない人の差です。

このマニュアルを読まれた方は、
これで正しい知識を知りました。

後は、

覚えて
実践して
慣れていく
だけです。
もし、疑問点あれば仰ってください。
お疲れでした^-^

